

「医療保険」

個人での加入が原則。将来の入院・手術に対して備えるための保険です。終身・定期保険等と併せて特約加入するケースがありますが、死亡補償と入院・手術補償の二つの目的が違うものが一体契約となるため、解約時・満期時に問題が生ずる場合があります。出来れば単体契約（終身保険・医療保険を別に契約する。）とし、それぞれの目的がシンプル且つ判り易くしておいた方が好ましいでしょう。また、費用対効果（損得）という点からすると、医療保険は得があるというよりは安心を買うというイメージが強いので、現行医療制度（高額医療）からすると入院日額1万円を基準に出来るだけ若い内に保険料を払い切るようお考え下さい。後は保険期間・入金期間の制限・保険会社の安全性を加味した上でご契約下さい。

「ガン保険」

日本では死亡原因の常にトップをガンが占めております。「医療保険」のしっかりしたものに加入されていれば、取り立てて別に加える必要はあまりないものと思います。ただ、これも安心の為というのであれば、「医療保険」同様入院日額1万円を基準に出来るだけ若い内に保険料を払い切るようお考え下さい。

「医療保険」「ガン保険」共通

保険期間を終身型等長期に設定した場合は、案外返戻が多い場合がありますので出来るだけ若いうち（60歳くらいまで）に保険料を払い終えることが肝要です。契約内容にもよりますが葬式費用位は捻出できる場合もあります。